

jfwyb0730



#交野山 #にほんりす #自然

mugioa8



#七五三 #星田神社

tonhimebuu



#私市植物園 #冬桜 #桜の木の下でひとやすみ

hiroko\_life\_is\_coming\_back



#電池が切れた電動自転車の重さはバイク並み

maiko.t1080



#森のエビフライ #リスがまつぼっくりを食べたあと

acalm\_mika



#坂の上文庫 #ぐりとぐら #ハンドメイド

# いつかは指定登録されたい 文化財子備軍

## 弥生時代の上の山遺跡

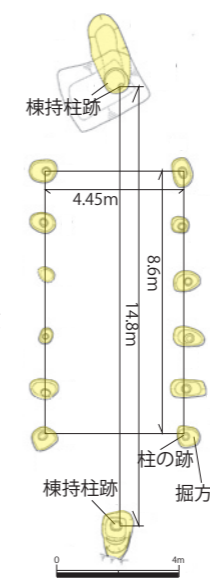
上の山遺跡は、私部西5丁目から枚方市茄子作南町にかけて広がる遺跡で、第二京阪道路建設を機に発見された遺跡です。発掘調査の結果、旧石器時代から中世にかけての複合遺跡であることが判明しました。中でも、弥生時代の竪穴住居や多量の土器とともに、独立棟持柱を有する大型掘立柱建物が発見されたことは、特筆すべき点と言えます。

天野川流域では、弥生時代の早い段階から受容がなされ、中期の段階では複数の遺跡が存在することも、かねてから確認されていました。とりわけ、上の山遺跡がその中心となる「拠点集落」であることが、明らかとなりました。

## 独立棟持柱を有する大型建物

大型建物は、弥生時代中期の前半頃(今から約2,200年前)に建てられ、集落内の最高所(標高21.9m)に立地しています。竪穴住居や簡易な掘立柱建物が一般的な建物であった時代に、立派な屋根を持つ大型建物が、眺めの良い高所にそびえ建つ光景は、壮観であったでしょう。

独立棟持柱を持つ大型建物を有する上の山遺跡は、周辺地域における弥生時代集落の中核的な存在で、「王」の姿をうかがえます。



## 復元

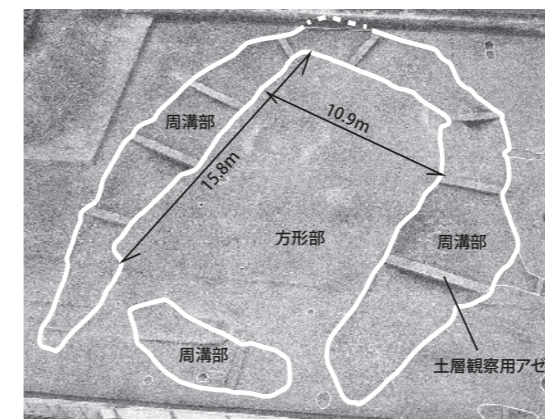


## 遺跡地図



## ほう 方形周溝墓

かなり大型の方形周溝墓で、本来は周溝部分を掘削した土で、方形部にマウンド状に盛り上げて、その中に木製の棺に納めた遺骸が埋葬されています。残念ながら、後世に上面を大きく削られていてマウンド部分は残っていませんでした。



## 用語解説

**方形周溝墓**: 近畿地方を中心に、弥生時代全般に見られる墓制です。古墳のような「王」の墓とは異なり、副葬品は認められませんが、周溝の中に土器を供える場合があります。

**独立棟持柱**: 掘立柱建物の妻部分から外に離れた位置に棟持柱があり、大きく張り出した屋根を支える大型建物です。弥生時代の集落内で際立った大型建物であることから「神殿」あるいは「祭殿」との考え方もあります。いずれにせよ、独立棟持柱を有する建物が存在する集落、地域の拠点集落と考えられます。